

南西諸島付近ダクト発生!!

2004年3月31日 JG0TEV 中村

春の移動性高気圧が朝鮮半島付近に進み西日本を覆いました。
南西諸島付近でダクトが発生し、オープンが確認されました。

3月31日のダクト発生域(推定)



JM6WRH 平さんからのオープン情報...

北方面は鹿児島県のリピータも2、3局は59で帰ってきましたが
(31ELx2) 殆どのリピータはアクセス出来ません
でしたが南の沖縄方面はモバイルホイップでも51~55位で
入っていました。以下はログ記録です。

当局はRIG IC - 910D
ANT 31ELx2
プリアンプ OFF

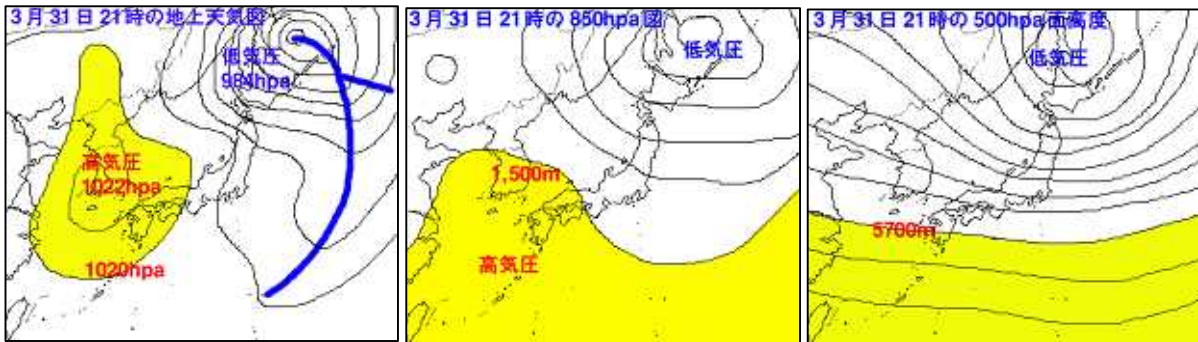
23:14	JS6EYP	宜野湾市	59	53	FM	(相手局GP)
23:18	JS6EYP	宜野湾市	59	59	SSB	
23:25	JR6TOP	島尻郡	59	59	FM	(18ELx2)
23:47	JS6QLF	中頭郡	59	57	FM	(相手局GP)
23:50	JS6QLF	中頭郡	59	55	SSB	
23:55	JR6QWW	具志川市	59	59	SSB	

気象解析

地上天気図から移動性高気圧が朝鮮半島付近にあって西日本を覆ったことがわかります。

850hpa面では1,500mの等高線は朝鮮半島を横切って西日本を縦断しています。

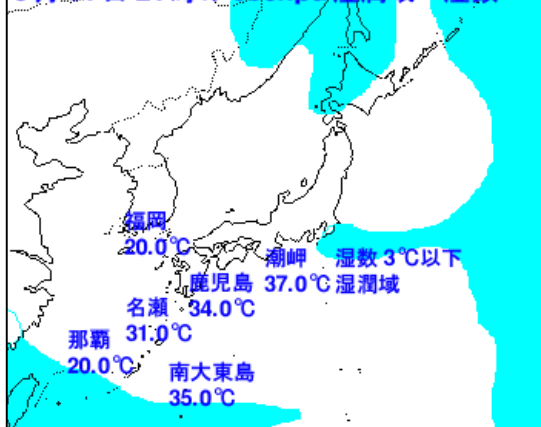
500hpa面図では5,700mの等高線は並行でリッジは解析されていないことから、高気圧の背丈は中層大気には達していないと解析されます。



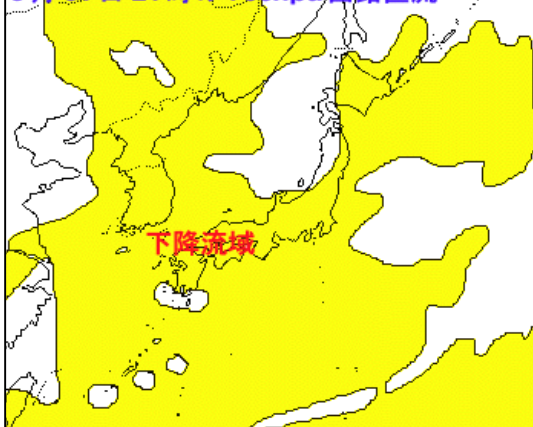
上空に流れ込んだ空気についてみると、850hpa面湿数から南西諸島から西日本にかけて非常に乾燥した空気が流れこんでいたことが解析できます。

850hpa面の6の等温線は東シナ海から九州中部を横切っていて、日本付近の上空はまだ低いことがわかります。700hpa面鉛直線を見ると、西日本を中心に下降流域が広がっており、大気は断熱上昇しやすかったと考えられます。

3月31日21時の850hpa湿潤域・湿数



3月31日21時の700hpa面鉛直線



以上から、南西諸島付近ではダクト発生条件が揃いやすい状態であったと解析します。